

令和7年度流山市平和大使

「平和大使として学んだこと」



この作文集を手にとっていただいたあなたへ

私たちは、「令和7年度流山市平和大使」に選ばれた小学5・6年生30人です。

私たち平和大使は、8月5日、6日に平和の尊さを学ぶために広島へ行き、そして、学び、感じたことを作文集にまとめました。

被ばく体験伝承者から貴重なお話を伺い、平和記念資料館を見学した中から、私たちの想像を超える、原子爆弾の恐ろしさや悲惨さ、そして、現在でも多くの人々がつらく悲しい思いをしていることを知りました。

平和記念公園では、「原爆の子の像」のもと、流山市民の皆さんの平和への思いが込められた千羽鶴を献納し、8月6日の平和記念式典には、石破首相はじめ、国内外の代表者とともに私たちも参列し、原爆が投下された8時15分に黙とうを行い、犠牲になられた方々のご冥福を祈りました。

私たち平和大使の任務は、終わっていません。それは、私たちが広島で学んだこと、感じたことを家族や友人に伝え、より多くの人に知ってもらい、平和のバトンをつなげていくことです。

この作文集を読んでいただいた方も、私たちと一緒に平和への想いを次世代につないでいきましょう。

令和7年度 流山市平和大使

◆目次◆

・作文「平和大使として学んだこと」 1～41 ページ

「1 班」

「ぼくが見た、80 年前の広島」	丸山 善暉（向小金小学校 5 年）	1 ページ
「平和な世界にするために」	森 奏登（おおぐろの森小学校 5 年）	2 ページ
「今私にできること」	岩本 莉奈（おおたかの森小学校 6 年）	3 ページ
「戦争と核兵器のない世界を願って」	藤山 杏奈（南流山第二小学校 5 年）	4 ページ
「平和とは、」	松川 菜々実（小山小学校 5 年）	6 ページ
「平和のバトンをつなぐ」	合田 梨乃（新川小学校 6 年）	7 ページ

「2 班」

「核兵器をもう二度と使用してはならない」	秋山 賢太（長崎小学校 6 年）	9 ページ
「戦争の悲惨と今の現状」	香川 空良（おおぐろの森小学校 5 年）	11 ページ
「戦争と原爆のおそろしさ」	石山 典燈（長崎小学校 5 年）	13 ページ
「原爆のない世界を願って」	妹尾 芽生（小山小学校 5 年）	14 ページ
「平和の世界を願って」	丹澤 雪乃（西初石小学校 5 年）	15 ページ
「かくへいきはとてもおそろしい」	古市 葉汰（おおたかの森小学校 5 年）	17 ページ

「3 班」

「広島に行って平和について考えたこと」	遠藤 悠真（流山小学校 6 年）	18 ページ
「広島にいて思ったこと」	別府 慶亮（鰯ヶ崎小学校 5 年）	20 ページ
「広島の前爆」	小林 俊貴（南流山第二小学校 5 年）	21 ページ
「平和のために、私ができること」	林 恭子（鰯ヶ崎小学校 6 年）	22 ページ
「平和をつなぐ世界」	小林 海翔（おおぐろの森小学校 6 年）	23 ページ
「そこに私がいたら」	上村 安寿でいえん（長崎小学校 6 年）	24 ページ

「4 班」

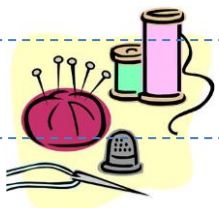
「私の使命」	石尾 心夏（鰯ヶ崎小学校 6 年）	25 ページ
「平和につなげる第一歩」	溝淵 悠天（市野谷小学校 5 年）	27 ページ
「80 年前のヒロシマ」	川村 奏介（流山小学校 6 年）	28 ページ

「想像を絶する原爆のおそろしさ」	福地 真治（流山小学校5年）	30 ページ
「平和をつなぐ」	本村 芽衣子（南流山第二小学校5年）	31 ページ
「語りつぐ未来へ」	畑中 朝陽（南流山小学校6年）	33 ページ
「5班」		
「広島で学んだ戦争について思ったこと」	別府 京祐（緒ヶ崎小学校6年）	34 ページ
「対話することの大切さ」	近藤 隼（新川小学校5年）	35 ページ
「平和大使になって」	岡部 珠季（おおたかの森小学校5年）	36 ページ
「平和は一人ひとりの願い」	菊地 美織（西初石小学校5年）	37 ページ
「広島が伝えたい「本当の平和」」	豊原 なのは（東小学校6年）	38 ページ
「学んだことを伝えていく」	多田 実乃理（八木南小学校5年）	40 ページ
・ 写真集		43～47 ページ
・ 流山市の平和に関する取り組み		48 ページ





ハンドブックを用いて、広島で一体何が起きたのか、原爆の恐ろしさなどについて学びました。



写真集

7月12日（土）

平和大使事前学習会

平和大使としての心構えの説明を受け、真剣に聞きました。



平和大使として学んだことは作文集として後世に伝えていきます。

「どのように作文を書いたらいいか」についても学びました。



8月1日（金）

平和大使結団式

市長からは任命証を、教育長からは
市民から託された千羽鶴を受け取り
ました。

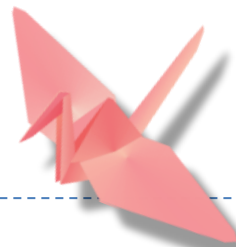


「戦争と平和について、しっかり見て
聞いて感じて平和を守るために何を
しなくてはいけないのか考える機会
としてください。」という市長の言葉。
皆さん真剣な表情ですね。





8月5日（火）



広島に到着。被爆体験伝承者の講話

のあとは、平和記念公園に行き、千

羽鶴を献納しました。





平和記念資料館や原爆ドームの見学をしました。大使は広島に原子爆弾が投下され何が起こったのかを実際の物品等を見ながら体感しました。夕食は広島名物のお好み焼きでした。

8月6日（水）

平和記念式典に参加しました。他の
たくさんの人たちと、平和への願い
を1つにしました。



流山市の平和に関する取り組み

平和都市宣言

私たちは、平和と繁栄を市民憲章にうたい、「豊かで活力ある文化都市」流山の実現をめざしている。

私たちの国は、世界でただひとつの被爆国として、広島・長崎のいたましさと被爆者の苦しみをすべての人びとに訴え、人類共通の願いである恒久平和を達成させなければならない。

私たちは、日本国憲法の平和精神にのっとり、武力による紛争をなくし非核三原則をまもり、すべての核兵器をすてることを訴え、世界平和確立のため、ここに平和都市を宣言する。

昭和62年1月1日 流山市

平和の像



流山市は、昭和62年1月1日、市制施行20周年を迎え、これを契機に平和都市を宣言しました。

そのおり、朝倉家御遺族の御理解のもとに東京都台東区から朝倉文夫作「姉妹」像の寄贈を受け、これを、「平和の像」として市役所庁舎前のプラザの一画に建立しました。

本作品は、朝倉翁が昭和22年、戦いが終わり平和の喜びを心に秘めて制作したものと言われており、本市が願う世界恒久平和のシンボルとして、永く後世に伝えるものです。

平和施策事業

流山市では、以下の平和施策に関する事業を毎年展開しています。

- ・ 平和大使事業
- ・ 平和ポスター展
- ・ 千羽鶴の送呈
- ・ ユニセフ平和教室



流 山 市

令和7年度流山市平和施策事業
作文集「平和大使として学んだこと」

発 行：令和7年9月
発 行 者：流山市
編 集：流山市総合政策部企画政策課